

IV. 令和6年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	グローバル・アグリビジネス (Global Agricultural)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月26日(土) 13:00~17:00	第3回 12月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 12月7日(土) 13:00~17:00		
<p>【授業のねらい・概要】</p> <p>本講座の目的は、経済のグローバル化の中でのアグリビジネスのあり方を習得することである。経済グローバル化のプロセスでは、アグリビジネスの基盤である農業生産とその産出である農産物に関しては、国際摩擦のシンボルとなる傾向が強く、合意形成も難航することがしばしばである。農業という産業特性とともに、国家間の経済的・政治的・文化的差異が、そこに集約されやすいからである。本講義では、アグリビジネスに直接的な発展可能性を規定する外部条件が何か、アグリビジネスに直接的な内発的発展可能性を与える内部条件が何かを明らかにすることによってグローバル経済下の日本におけるアグリビジネスについて考察することにある。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の食料需給：世界の食料需給と農業について把握し、ディスカッションを実施 日本における農産物貿易の実態：日本における農産物貿易の実態を把握するとともに、ディスカッションを実施 (予習) 世界の食料需給や貿易について、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 多国籍アグリビジネスの展開と日本農業：多国籍アグリビジネスの展開と日本農業への影響について把握するとともに、ディスカッションを実施 (予習) 多国籍アグリビジネスについて、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> フードビジネスとワーキングプアの実態：フードビジネス等について把握するとともに、ディスカッションを実施 コメビジネスや野菜ビジネスの実態：コメビジネスや野菜ビジネスについて把握し、ディスカッションを実施 (予習) フードビジネスについて、事前に調べておくこと (復習) 授業で習った内容と関連資料や論文について確認すること <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グローバル経済下のアグリビジネスの基本的枠組を理解し、説明できる ②グローバル経済下のアグリビジネスを取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる ③グローバル経済下のアグリビジネスの基盤となる農業の産業としての特性を理解し、説明できる ④グローバル経済下のアグリビジネスの社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の講義レポートを参考に、総合的に判断する。</p> <p>【教科書】</p> <p>冬木勝仁ほか『アグリビジネスと現代社会』筑波書房、2021年</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>八木浩平ほか『日本の食料安全保障と国際環境』筑波書房、2024年、ほか必要に応じて、随時紹介する</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>国内外の食料問題や農業問題について、興味関心を持ち、その背景を認識するとともに、今後のあり方を検討(提示)できることが望ましい。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】</p> <p>「農業経済学」「農産物流通論」などの基礎的知識を有することが望ましい。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>予習学修と復習とともに、授業で提示いたしました内容について行ってまいります。いずれの作業にも、授業内容と関連したことを調べたり、構想するために相当の時間を要します。</p>			